

事業所名

児童デイサービスくれよん三山木

支援プログラム

作成日

2026年

5月

30日

法人（事業所）理念		・地域社会の中で、誰もがありのままの姿を受け止めてもらえるように、そして当たり前のように生活できるように、皆が助け合い支えあえる社会を作ります。 ・我々は、驕ることなく、利用されるすべての人に寄り添い、幸福の追求と社会的自立を願い、最善を尽くします。					
支援方針		・お客様の年齢、発達段階に応じた療育プログラムを提供していきます。 ・本人中心の支援を構築し、保護者様ともよく相談し、お子様本人の自立に向けた支援を行います。 ・地域社会の中でお客様が生活していけるよう、学校など他機関との連携を図ります。					
営業時間		10時	0分	19時	0分	送迎実施の有無	あり（利用児童増加に伴い、ご家庭での送迎をお願いする場合があります。）
支 援 内 容							
本人 支 援	SST	全クラス、毎月実施しています。クラスごと、個人に合わせたターゲットスキルを設定し、それらを体系的に学んでいきます。スタッフの話聞き、スキルの練習をした後はみんなでゲームや遊びを通して学んだスキルを活かせる時間を設けています。（言語・コミュニケーション）（人間関係・社会性）					
	グループ活動	SSTの翌週に行う活動で、SSTで学んだスキルを活かせるような遊びや集団活動を実施します。「友達と話し合いながら遊びを決める。」「勝っても負けても最後まで一緒に遊ぶ」など場面を設定し活動を行っています。高学年になるとイベントや外出の企画、相談を子供たちで行い実施するなどの取り組みも行っていきます。（言語・コミュニケーション）（人間関係・社会性）					
	調理活動	スタッフの話聞き、工程表を読んで自分で進める、道具の貸し借りを友達と行う、適切に道具を扱うなど様々な要素が含まれたプログラムです。平日はお菓子作り、土曜日は軽食づくりにも取り組んでいます。5、6年クラスでは物菜づくり（調理実習）を実施しています。（健康・生活）（認知・行動）					
	創作活動・運動	工作やアート、運動プログラムを毎月実施しています。各学年やクラスに合わせた内容になります。屋外の公園や近隣の公共施設を利用し身体を動かすほか、自然の中で五感を使って遊ぶネイチャーゲームをプログラムとして取り入れています。工作・アートでは工程表を自分で読みながら作る、道具を適切に扱う、わからないところをスタッフや友達に聞いて進めるなど、様々な要素が含まれます。（健康・生活）（認知・行動）					
	レクリエーション その他	長期休みや土曜日などにレクリエーション活動を実施しています。クラスごとに外出をしたり、子供たちで企画し夏祭りを実施するなど、子供たちが主体的に参加できる仕組みを取り入れています。高学年になるとSSTと合わせて話し合い、企画、準備、実施を体験できるプログラムを設定しています。					
家族支援		定期面談を実施しています。また、ご要望に応じて個別面談を実施し、ご家庭や学校、地域生活のご相談をお受けしています。			移行支援		保育所等訪問などを活用し、各学校との連携を進めています。また、小学校から中学校、中学校から高等学校への移行時には引継ぎシートの記入をしています。
地域支援・地域連携		保育所等訪問を活用し、学校、地域での過ごしが円滑にできるよう、共有、相談を行っています。適宜、学校や相談支援事業所とも連携しています。			職員の質の向上		日々の活動前にはスタッフミーティングを実施し、参加児童の把握と活動の狙いなどを共有しています。毎月、ケース検討やクラスミーティングを実施しています。オンライン研修を体系的に導入しています。
主な行事等		各長期休みにレクリエーションを実施しています。年に1回、他部署と共催するイベント開所では本人だけでなくご家族にも参加していただけるイベントを実施しています。また、活動報告会を実施し、日々の活動の様子をお伝えする機会を設けていきます。					